

HOT NEWS

雲仙復興事務所

平成25年6月12日

満席御礼！

～初！歴代事務所長を招いてシンポジウム開催～

発信元

雲仙復興事務所
調査課 峰松 知裕

雲仙復興事務所設立(当時雲仙復興工事事務所)から今年で20年を迎えるにあたり、災害伝承と地域防災力の向上に資することを目的として、噴火災害からの復興に最前線で携わってこられた歴代事務所長の方々を招いてシンポジウムを開催しました。

本シンポジウムは、火砕流で43名もの方が犠牲となられた「いのりの日」の関連行事として雲仙岳災害記念館で6月4日に行い、行政関係者や建設業関係者など約110名が参加しました。

当日は高橋長大名誉教授による基調講演のほか、建設無人化施工協会の植木会長による無人化施工技術講演、高橋長大名誉教授をコーディネーターとした歴代事務所長によるパネルディスカッションを行いました。今後も事務所の取り組みを広く発信していけるよう、努めていきたいと思っております。

全体の司会進行も事務所職員が行うなど、手づくり感のあるシンポジウムとなりました。

また、広報体制強化の一環として、広報班(記者対応、写真撮影)は腕章をつけてシンポジウムに参加しました。



記者対応者、記録者を明示するために、右のような腕章をつけました！



古川島原市長もご多忙な中ご出席いただき、感謝のお言葉をいただきました。

佐藤事務所長より開会の挨拶

関連イベント



いのりの日当日(6月3日)は、地元主催の講演会があり、池谷元砂防部長もご講演されました。

右は慰霊の様子です。



～長崎大学高橋名誉教授による基調講演～
テーマ:「火山との共生の再構築に向けて」

雲仙復興事務所の20年間の取り組みを総括し、噴火災害や溶岩ドーム崩壊に備えた防災対策の必要性と地域防災の取り組みについて講演いただき、課題のご提案から、今後の方向性につきましても非常に参考となるご意見をいただきました。



～建設無人化施工協会植木会長による講演～
 テーマ:「災害対応における無人化施工技術」

無人化施工技術の変遷をご紹介いただくとともに、有珠、新潟、桜島、東北等で活用されている事例等をご講話いただきました。雲仙で培われた技術が他地域の復興に貢献していることを会場の皆様にも実感していただけたのではないかと思います。



事務所職員によるマスコミばりの撮影！！
 総務課職員の司会進行もお見事でした！



～歴代事務所長によるパネルディスカッション～
 話題:「噴火災害からの復興」

長崎大学高橋名誉教授をコーディネーターとして、歴代事務所長の方々に、応急対策工、無人化施工の試験施工～高度化、安中三角地帯嵩上げ、砂防指定地の利活用、溶岩ドーム崩壊対策検討、防災教育など、当時の思い出話も含めて事務所の20年間の取り組みを振り返っていただきました。



古賀副所長より閉会の言葉



梅雨入りしたにも関わらず、当日は平成新山がはっきり見えるほど快晴な中でシンポジウムを開催することができました。
 ご来場いただきました皆様、本当にありがとうございました。